↓ここにシールを貼ってください↓

受験番号

名前	

2025年度　須磨学園夙川中学校　第1回入学試験　解答用紙　算数

（※のらんには，　何も記入してはいけません）

1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
2025	$\frac{19}{40}$	12007	40	56095 mm

※

2

(1)	(2)	(3)ア	(3)イ
138 枚	4.16 %	10 通り	210 通り

(4)	(5)	(6)	(7)
169 個	47 度	188.4 ㎠	6 ㎠

※

3

(1)	(2)
1.25 倍	50 %

(3) Aは3時間15分＝$\frac{13}{4}$時間，Bは2時間36分＝$\frac{13}{5}$時間で水をまき終わるのでA，Bの1時間あたりの仕事量はそれぞれ$\frac{4}{13}$，$\frac{5}{13}$である。

Aが24分＝$\frac{2}{5}$時間に行った仕事量は$\frac{4}{13}\times\frac{2}{5}=\frac{8}{65}$だから残りの仕事量は$1-\frac{8}{65}=\frac{57}{65}$である。

AとBが同時に水をまくときの仕事量は1時間あたり$\frac{4}{13}+\frac{5}{13}=\frac{9}{13}$だから$\frac{57}{65}$の仕事をするのに必要な時間は$\frac{57}{65}\div\frac{9}{13}=\frac{19}{15}$時間$=\frac{19}{15}\times 60$分$=76$分

よって，24+76=100分

100 分

※

4

(1)CF	(1)面積	(2)表面積の比	(2)体積
$\frac{25}{9}$ cm	$\frac{50}{27}$ ㎠	Sの表面積：Tの表面積＝ 1:2	160.14 ㎤

(3)EF	(3)表面積
8 cm	1657.92 ㎠

※

5

(1)	(2)多いのは	(2)差は
66 個	白	16 個

(3) 黒石は1周目，3周目，5周目，… に並べられて，その個数は1，9，17，… と8ずつ増えていき，
白石は2周目，4周目，6周目，… に並べられて，その個数は5，13，21，… と8ずつ増えていくので
各周の最後まで並べきったときの黒石と白石の個数の差は1，4，5，8，9，12，13，… となっている。
奇数番目をみると1，5，9，13，… と4ずつ増えていき，偶数番目をみると4，8，12，… と4ずつ増えている。
$29=1+4\times 7$より，差が29個になるのは奇数番目の列の8番目だから8+7=15(周目)まで
並べきったときである。
このとき石はたてに$15\times 2-1=29$個，よこに15個並ぶので
総数は$29\times 15=435$(個)

29になる	全部で
15 周目	435 個

※

※